

地域福祉（子どもの生活）に関する  
アンケート報告書

2024年3月

真鶴町



# 目次

I	調査概要	1
■ 1	調査の目的	1
■ 2	調査の設計	1
■ 3	回収結果	1
■ 4	報告書の見方	1
II	調査結果	2
■ 1	居住地区	2
■ 2	同居家族人数	2
■ 3	18歳以下の同居家族人数	3
■ 4	同居家族	3
■ 5	現在の暮らしの状況	4
■ 6	令和5年の世帯収入	4
■ 7	家計の支出の中で、負担が大きいと感じるもの	5
■ 8	子どもが世話をしている家族	6
■ 9	子どもが行っている世話	7
■ 10	子どもの親の就労状況	8
■ 11	働いていない理由	9
■ 12	子どもが直面した困難	10
■ 13	困難を乗り越えた（乗り越える）ために役に立つ支援	11
■ 14	公的支援制度の利用状況	12
■ 15	幼少期に利用したい（したかった）子育て支援サービス	14
■ 16	一時預かり事業、ファミリー・サポート・センターを利用したい金額	15
■ 17	子ども食堂に子どもを参加させたいか	16
■ 18	参加させたい・参加している理由	16
■ 19	ヤングケアラーという言葉がこれまでに聞いたことがあるか	17
■ 20	子どもはヤングケアラーにあてはまると思うか	17
■ 21	子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所	18
■ 22	県や町が実施している子育てや生活に関する支援の情報入手方法	19
■ 23	町に優先的に力を入れてほしい分野	19
■ 24	充実が必要だと思う子育て・生活支援	20
■ 25	充実が必要だと思う子ども・若者支援	21
III	集計（全体・地区別）	22
IV	調査票	32



# I 調査概要

## ■ 1 調査の目的

真鶴町において、子育て支援や教育の魅力化等による定住対策事業「子育てが住まう町～真鶴町定住推進事業」が地方創生として推進され、さらに2023年度にこども基本法が制定されたことを受け、真鶴町における地域福祉及び子育て支援に関して総合的な検討を行うための基礎資料として、町民に対するニーズ調査を実施したものです。

## ■ 2 調査の設計

調査対象	町内在住の高校生以下の児童をもつ保護者を中心とした町民
標本数	500世帯
調査方法	施設を通じた直接配布・回収と郵送による配布・回収の併用
調査期間	2024年1月19日（金）～1月29日（月）

## ■ 3 回収結果

配布数	500
回収数	390
有効回収数	388
有効回収率	77.6%

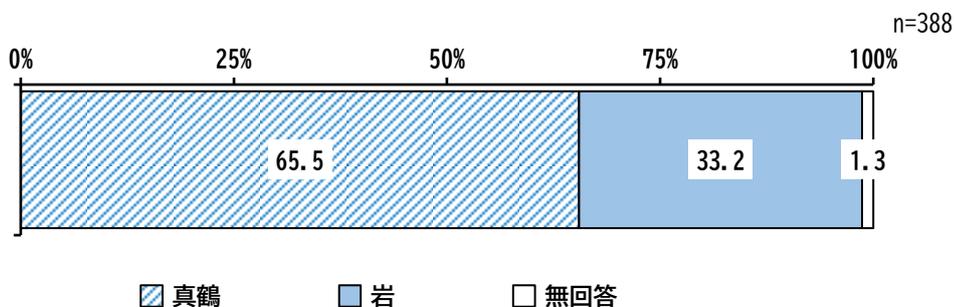
## ■ 4 報告書の見方

- ・ 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が100%にならないこともあります。
- ・ 回答率（%）は、その質問の回答者数を母数として算出しました。
- ・ 基数となるべき実数は、nとして掲載しました。比率は、この件数を100%として算出しています。
- ・ 複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選び○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をしました。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超える場合もあります。
- ・ 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。

# II 調査結果

## ■ 1 居住地区

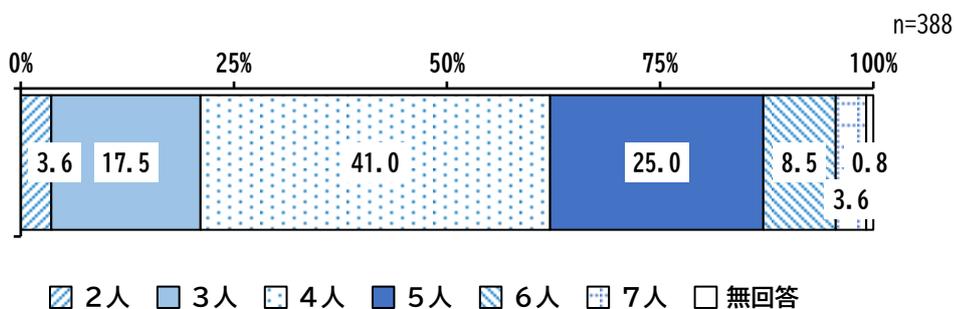
問1 お住まいの地区をお答えください。



居住地区では、「真鶴」65.5%が最も多く、以下「岩」33.2%となっています。

## ■ 2 同居家族人数

問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数をお答えください。

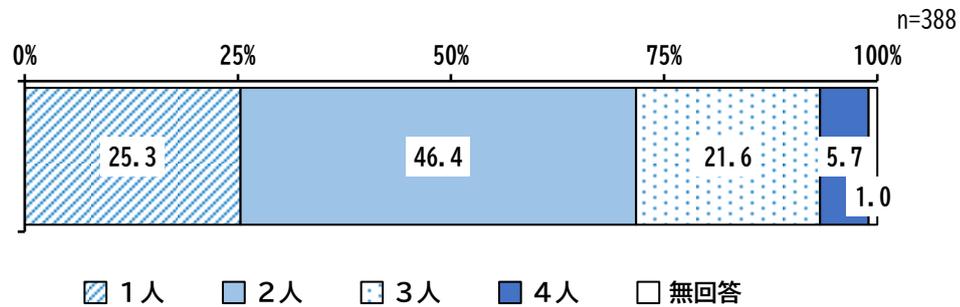


同居家族人数では、「4人」41.0%が最も多く、以下「5人」25.0%、「3人」17.5%、「6人」8.5%、「2人」3.6%、「7人」3.6%となっています。

同居家族人数は、平均4.28人となっています。

### ■ 3 18歳以下の同居家族人数

問3 問2で回答したご家族のうち、令和6年1月1日現在、0歳から18歳以下の人の人数をお答えください。

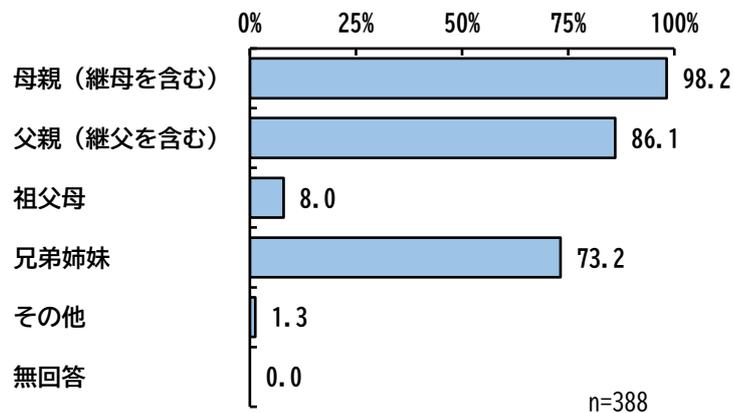


18歳以下の同居家族人数では、「2人」46.4%が最も多く、以下「1人」25.3%、「3人」21.6%、「4人」5.7%となっています。

18歳以下の同居家族人数は、平均2.08人となっています。

### ■ 4 同居家族

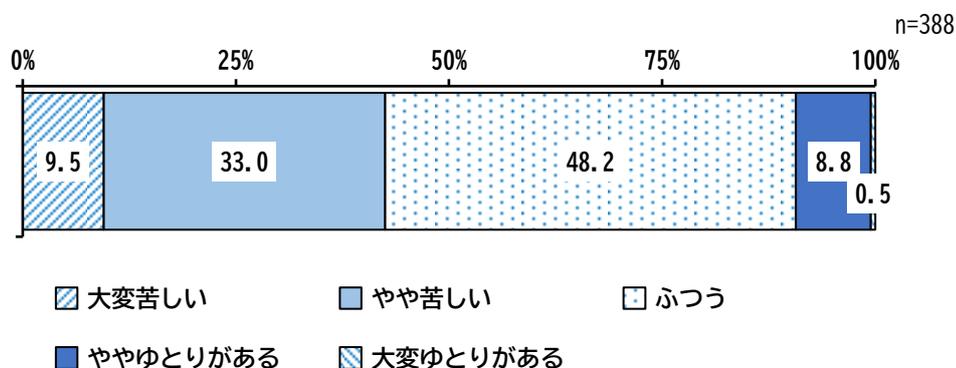
問4 問2で回答したご家族は、お子さんから見てどの方ですか。(あてはまるものすべてに○)



同居家族では、「母親（継母を含む）」98.2%が最も多く、以下「父親（継父を含む）」86.1%、「兄弟姉妹」73.2%、「祖父母」8.0%、「その他」1.3%となっています。

■ 5 現在の暮らしの状況

問5 あなたは、現在の暮らしの状況を総合的に見て、どのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

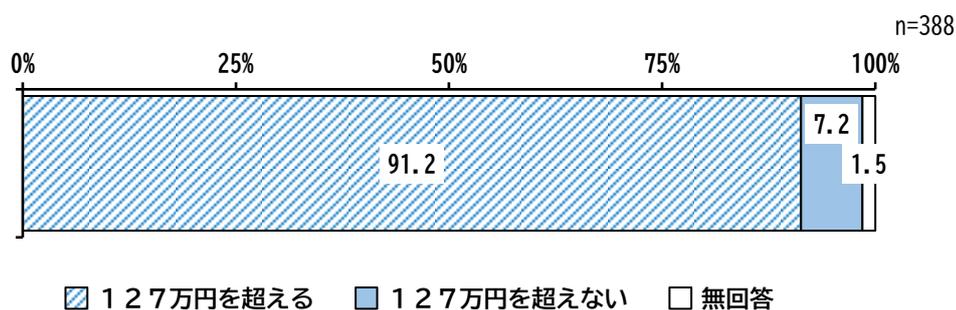


現在の暮らしの状況では、「ふつう」48.2%が最も多く、以下「やや苦しい」33.0%、「大変苦しい」9.5%を合わせた『苦しい』は42.5%、「ややゆとりがある」8.8%、「大変ゆとりがある」0.5%を合わせた『ゆとりがある』は9.3%となっています。

■ 6 令和5年の世帯収入

問6 令和5年1月から12月までのあなたの世帯の収入（税金や社会保険料等を差し引いた、いわゆる手取り収入）の合計額は、127万円を超えますか。

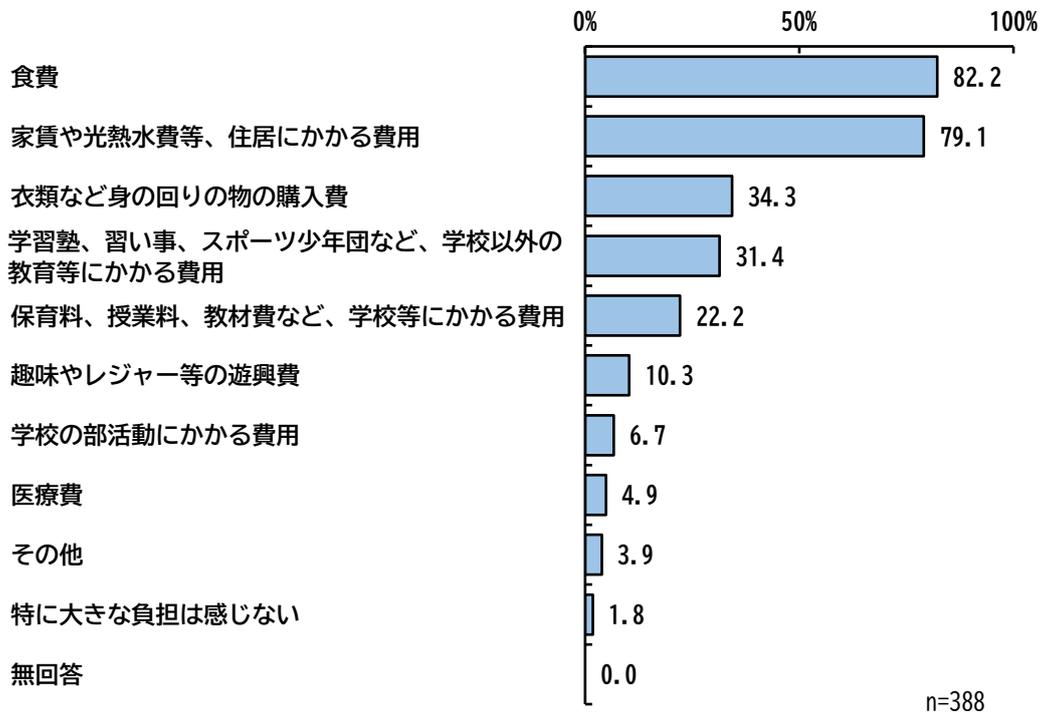
なお、ここでいう収入には仕事で得た収入のほか、株式配当などの副収入、年金収入、児童手当などの公的な手当・給付金、養育費等を含みます。(あてはまるもの1つに○)



令和5年の世帯収入では、「127万円を超える」91.2%が最も多く、以下「127万円を超えない」7.2%となっています。

## ■ 7 家計の支出の中で、負担が大きいと感じるもの

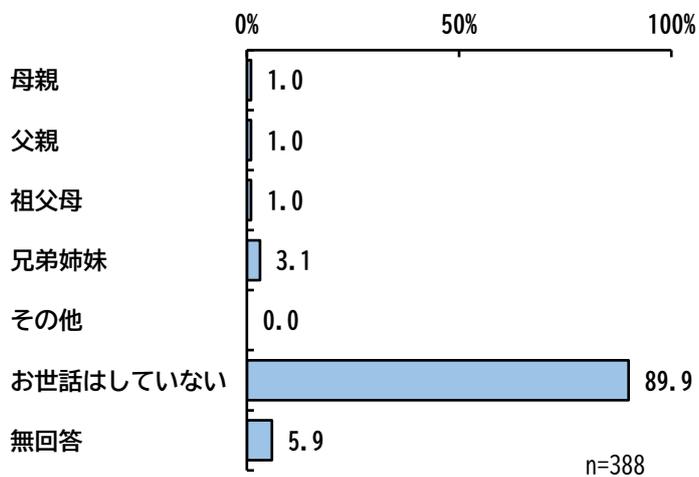
問7 家計の支出の中で、負担が大きいと感じるものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



家計の支出の中で、負担が大きいと感じるものでは、「食費」82.2%が最も多く、以下「家賃や光熱水費等、住居にかかる費用」79.1%、「衣類など身の回りの物の購入費」34.3%、「学習塾、習い事、スポーツ少年団など、学校以外の教育等にかかる費用」31.4%、「保育料、授業料、教材費など、学校等にかかる費用」22.2%となっています。

■ 8 子どもが世話をしている家族

問 8 家族のうち、お子さんがお世話をしている人はいますか。それはどなたですか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

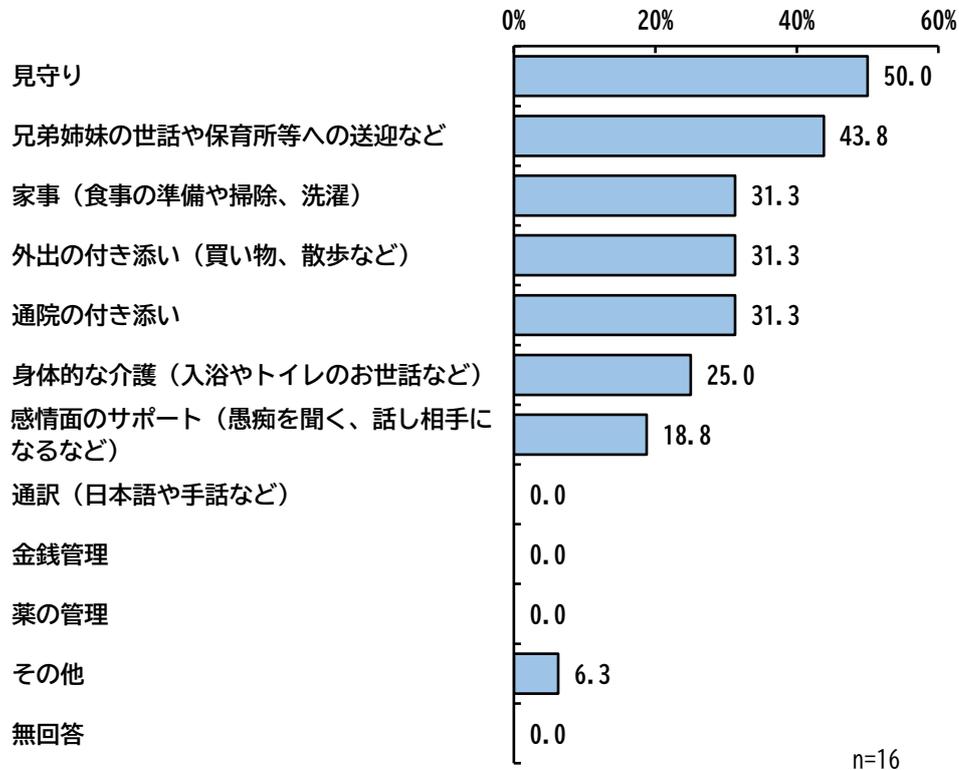


子どもが世話をしている家族では、「お世話はしていない」89.9%が最も多く、以下「兄弟姉妹」3.1%、「母親」1.0%、「父親」1.0%、「祖父母」1.0%となっています。

## ■ 9 子どもが行っている世話

問9 問8で1～5を選んだ人にお聞きします。

お子さんが行っているお世話の内容をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

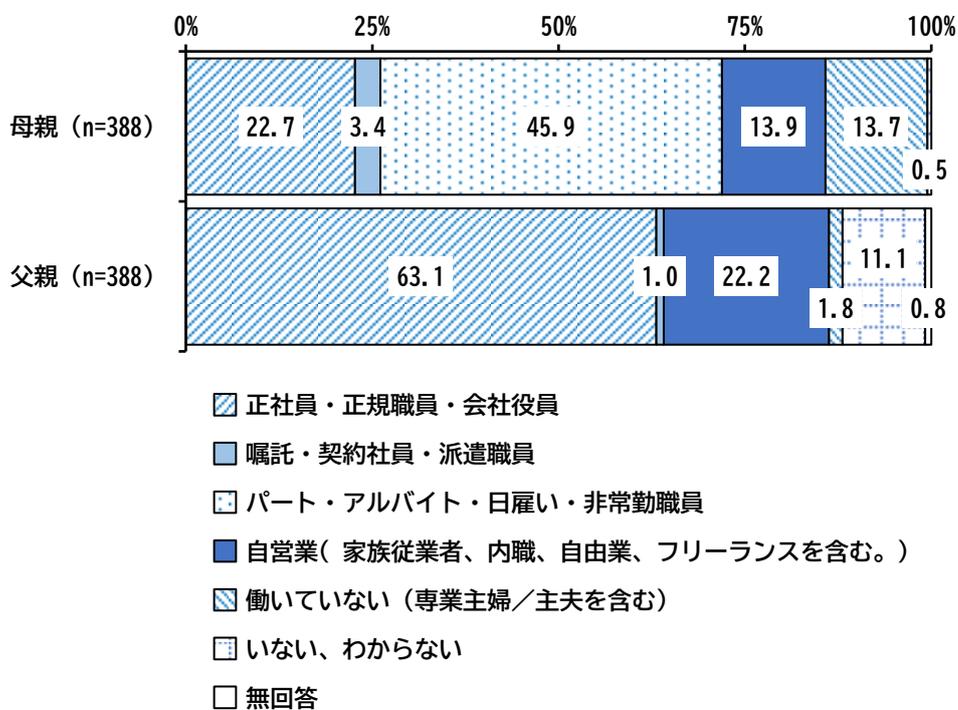


子どもが行っている世話では、「見守り」50.0%が最も多く、以下「兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など」43.8%、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」31.3%、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」31.3%、「通院の付き添い」31.3%となっています。

■10 子どもの親の就労状況

問10 お子さんの母親の就労状況について、あてはまるものをお答えください。(主なもの1つに○)

問11 お子さんの父親の就労状況について、あてはまるものをお答えください。(主なもの1つに○)

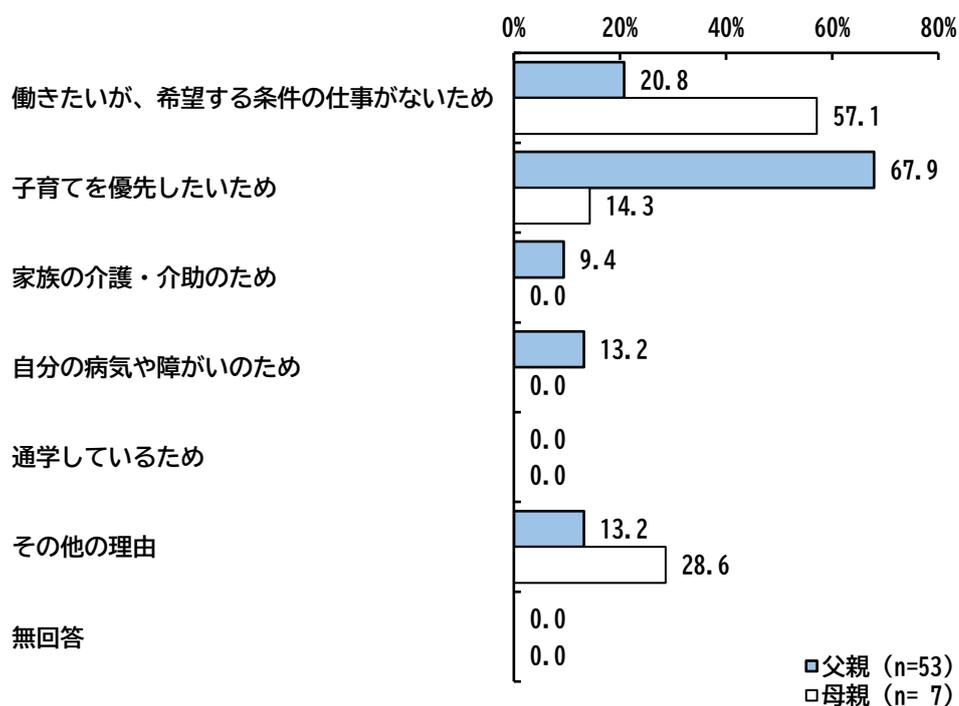


子どもの母親の就労状況では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」45.9%が最も多く、以下「正社員・正規職員・会社役員」22.7%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」13.9%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」13.7%、「嘱託・契約社員・派遣職員」3.4%となっています。

子どもの父親の就労状況では、「正社員・正規職員・会社役員」63.1%が最も多く、以下「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」22.2%、「いない、わからない」11.1%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」1.8%、「嘱託・契約社員・派遣職員」1.0%となっています。

## ■11 働いていない理由

「働いていない」理由を教えてください。

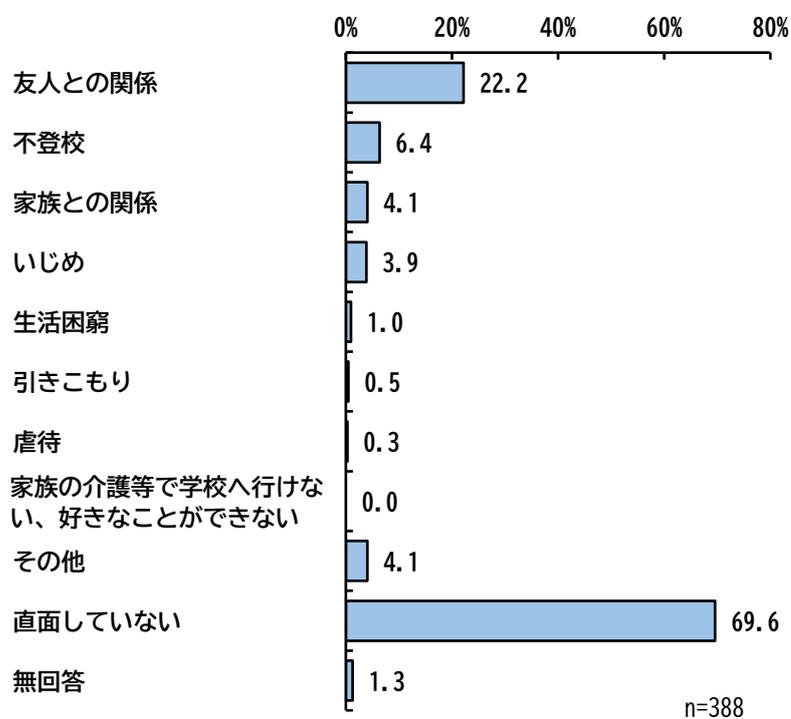


子どもの母親の働いていない理由では、「子育てを優先したいため」67.9%が最も多く、以下「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」20.8%、「自分の病気や障がいのため」13.2%、「その他の理由」13.2%、「家族の介護・介助のため」9.4%となっています。

子どもの父親の働いていない理由では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」57.1%が多くなっています。

## ■12 子どもが直面した困難

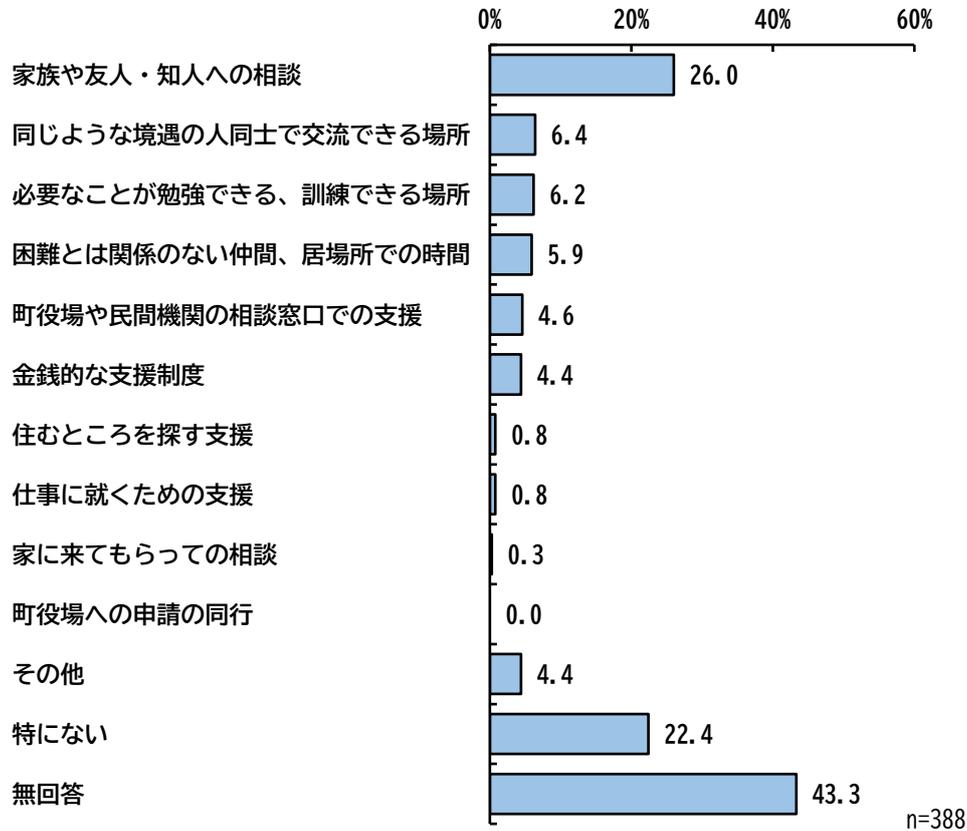
問12 お子さんは、次のような困難に直面したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



子どもが直面した困難では、「直面していない」69.6%が最も多く、以下「友人との関係」22.2%、「不登校」6.4%、「家族との関係」4.1%、「その他」4.1%となっています。

## ■13 困難を乗り越えた（乗り越える）ために役に立つ支援

問13 困難を乗り越えた方は、どういうことが役に立ちましたか。また、困難がまだ続いている方は、どのような支援があればよいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

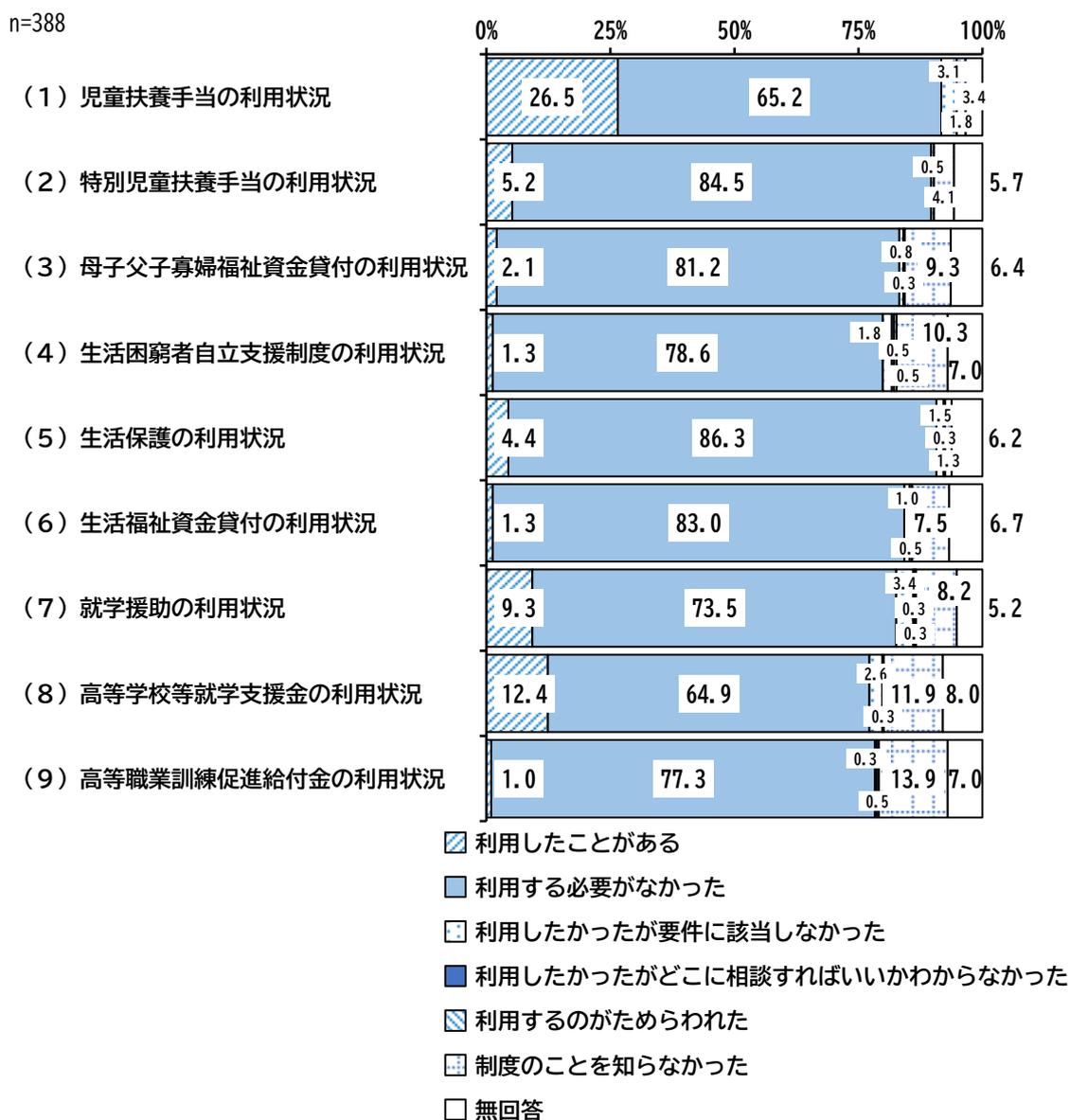


困難を乗り越えた（乗り越える）ために役に立つ支援では、「家族や友人・知人への相談」26.0%が最も多く、以下「同じような境遇の人同士で交流できる場所」6.4%、「必要なことが勉強できる、訓練できる場所」6.2%、「困難とは関係のない仲間、居場所での時間」5.9%となっています。

■14 公的支援制度の利用状況

問14 あなたの世帯では、以下の公的支援制度を利用したことがありますか。

((1)～(9)それぞれについて、あてはまるもの1つに○)



(1) 児童扶養手当の利用状況では、「利用する必要がなかった」65.2%が最も多く、以下「利用したことがある」26.5%、「利用したかったが要件に該当しなかった」3.1%、「制度のことを知らなかった」1.8%となっています。

(2) 特別児童扶養手当の利用状況では、「利用する必要がなかった」84.5%が最も多く、以下「利用したことがある」5.2%、「制度のことを知らなかった」4.1%、「利用したかったが要件に該当しなかった」0.5%となっています。

(3) 母子父子寡婦福祉資金貸付の利用状況では、「利用する必要がなかった」81.2%が最も多く、以下「制度のことを知らなかった」9.3%、「利用したことがある」2.1%、「利用したかったが要件に該当しなかった」0.8%、「利用するのがためらわれた」0.3%となっています。

(4) 生活困窮者自立支援制度の利用状況では、「利用する必要がなかった」78.6%が最も多く、以下「制度のことを知らなかった」10.3%、「利用したかったが要件に該当しなかった」1.8%、「利用したことがある」1.3%、「利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった」0.5%、「利用するのがためらわれた」0.5%となっています。

(5) 生活保護の利用状況では、「利用する必要がなかった」86.3%が最も多く、以下「利用したことがある」4.4%、「利用したかったが要件に該当しなかった」1.5%、「制度のことを知らなかった」1.3%、「利用するのがためらわれた」0.3%となっています。

(6) 生活福祉資金貸付の利用状況では、「利用する必要がなかった」83.0%が最も多く、以下「制度のことを知らなかった」7.5%、「利用したことがある」1.3%、「利用したかったが要件に該当しなかった」1.0%、「利用するのがためらわれた」0.5%となっています。

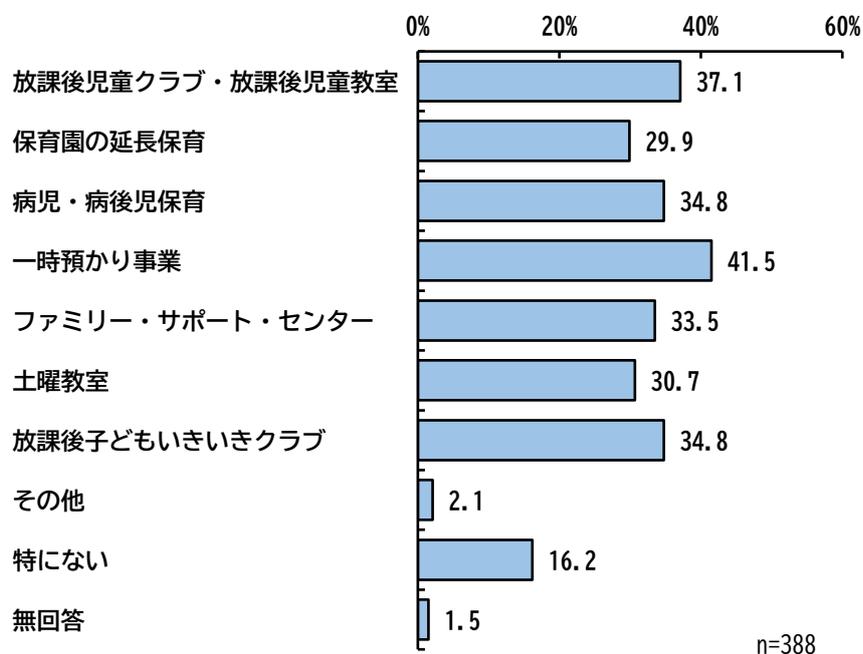
(7) 就学援助の利用状況では、「利用する必要がなかった」73.5%が最も多く、以下「利用したことがある」9.3%、「制度のことを知らなかった」8.2%、「利用したかったが要件に該当しなかった」3.4%、「利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった」0.3%、「利用するのがためらわれた」0.3%となっています。

(8) 高等学校等就学支援金の利用状況では、「利用する必要がなかった」64.9%が最も多く、以下「利用したことがある」12.4%、「制度のことを知らなかった」11.9%、「利用したかったが要件に該当しなかった」2.6%、「利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった」0.3%となっています。

(9) 高等職業訓練促進給付金の利用状況では、「利用する必要がなかった」77.3%が最も多く、以下「制度のことを知らなかった」13.9%、「利用したことがある」1.0%、「利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった」0.5%、「利用したかったが要件に該当しなかった」0.3%となっています。

■15 幼少期に利用したい（したかった）子育て支援サービス

問15 次のうち、幼少期に利用したい子育て支援サービスがありますか。幼少期を過ぎたお子さんの場合、利用したかったサービスを選んでください。（あてはまるものすべてに○）

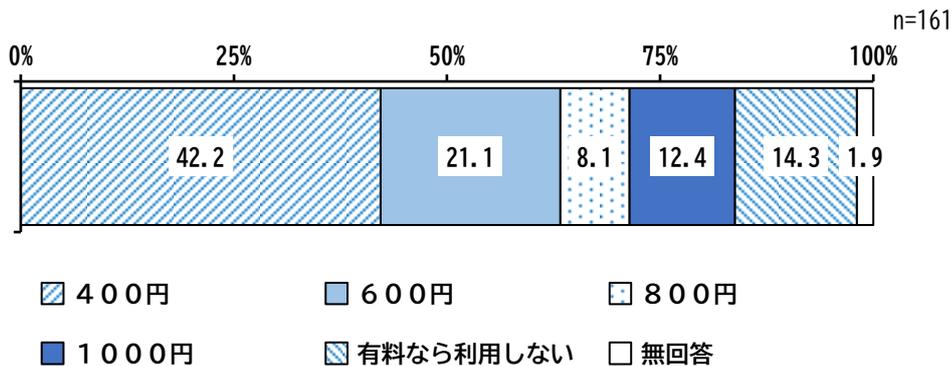


幼少期に利用したい（したかった）子育て支援サービスがでは、「一時預かり事業」41.5%が最も多く、以下「放課後児童クラブ・放課後児童教室」37.1%、「病児・病後児保育」34.8%、「放課後子どもいきいきクラブ」34.8%、「ファミリー・サポート・センター」33.5%となっています。

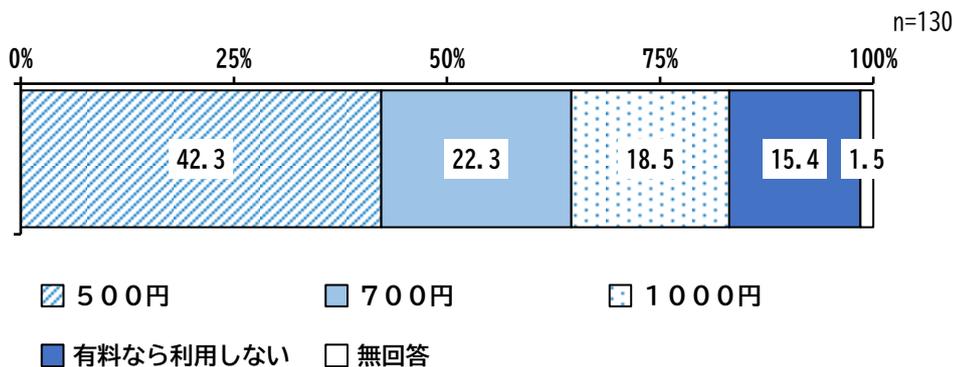
## ■16 一時預かり事業、ファミリー・サポート・センターを利用したい金額

問16 問15で「4 一時預かり事業」「5 ファミリー・サポート・センター」を選んだ人にお聞きします。平日1時間の利用金額が、いくらまでであれば利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つずつに○)

### 【一時預かり事業】



### 【ファミリー・サポート・センター】

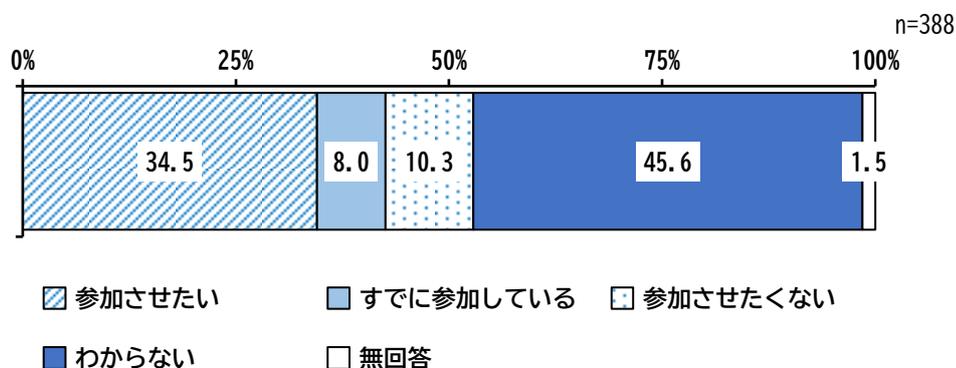


一時預かり事業を利用したい金額では、「400円」42.2%が最も多く、以下「600円」21.1%、「1000円」12.4%、「800円」8.1%、「有料なら利用しない」14.3%となっています。

ファミリー・サポート・センターを利用したい金額では、「500円」42.3%が最も多く、以下「700円」22.3%、「1000円」18.5%、「有料なら利用しない」15.4%となっています。

■17 子ども食堂に子どもを参加させたいか

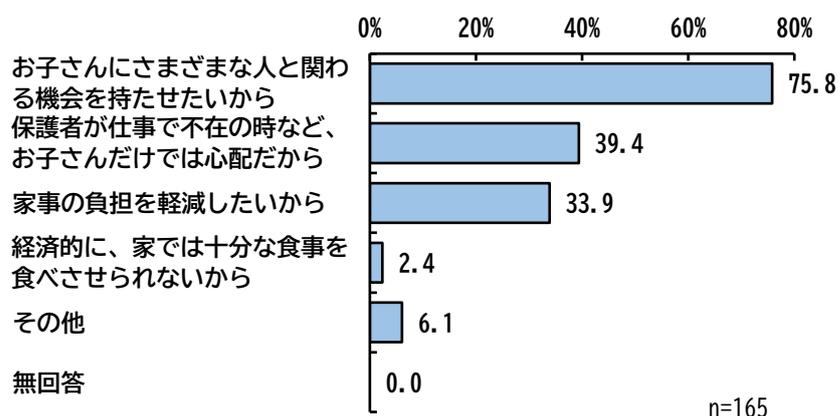
問17 近年、無料又は低額で食事を提供する「子ども食堂」の取組みが増えてきていますが、そうした場所にお子さんを参加させたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)



子ども食堂に子どもを参加させたいかでは、「わからない」45.6%が最も多く、以下「参加させたい」34.5%、「参加させたくない」10.3%、「すでに参加している」8.0%となっています。

■18 参加させたい・参加している理由

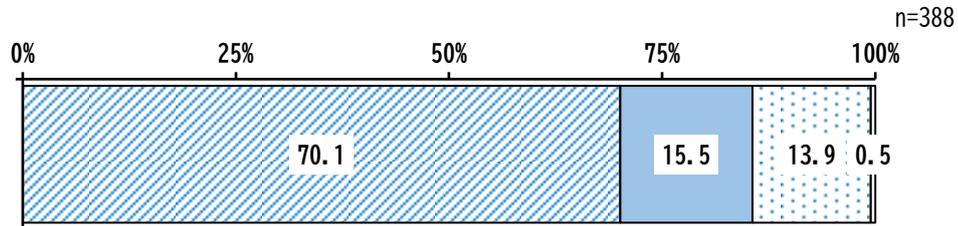
問18 問17で「1 参加させたい」「2 すでに参加している」を選んだ人にお聞きします。参加させたい・参加している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



参加させたい・参加している理由では、「お子さんにさまざまな人と関わる機会を持たせたいから」75.8%が最も多く、以下「保護者が仕事で不在の時など、お子さんだけでは心配だから」39.4%、「家事の負担を軽減したいから」33.9%、「その他」6.1%、「経済的に、家では十分な食事を食べさせられないから」2.4%となっています。

## ■19 ヤングケアラーという言葉がこれまでに聞いたことがあるか

問19 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

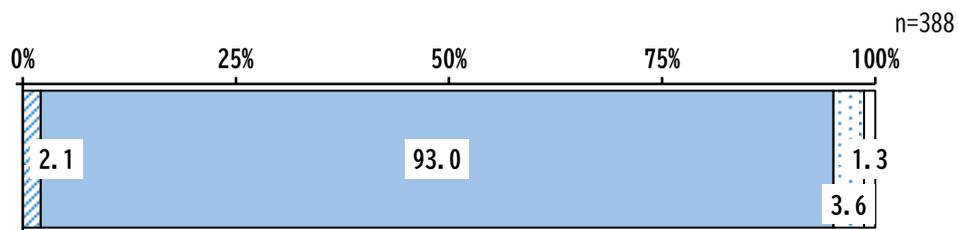


- 聞いたことがあります、内容も知っている
- 聞いたことはあるが、よく知らない
- 聞いたことはない
- 無回答

ヤングケアラーという言葉がこれまでに聞いたことがあるかでは、「聞いたことがあります、内容も知っている」70.1%が最も多く、以下「聞いたことはあるが、よく知らない」15.5%、「聞いたことはない」13.9%となっています。

## ■20 子どもはヤングケアラーにあてはまると思うか

問20 お子さんは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

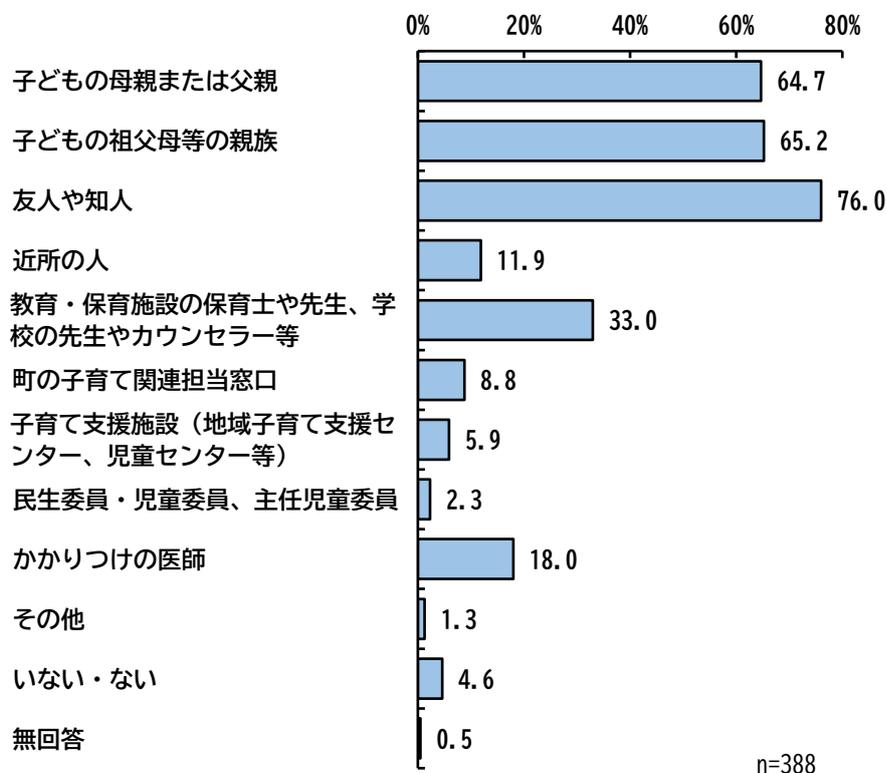


- あてはまる
- あてはまらない
- わからない
- 無回答

子どもはヤングケアラーにあてはまると思うか。では、「あてはまらない」93.0%が最も多く、以下「わからない」3.6%、「あてはまる」2.1%となっています。

■21 子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所

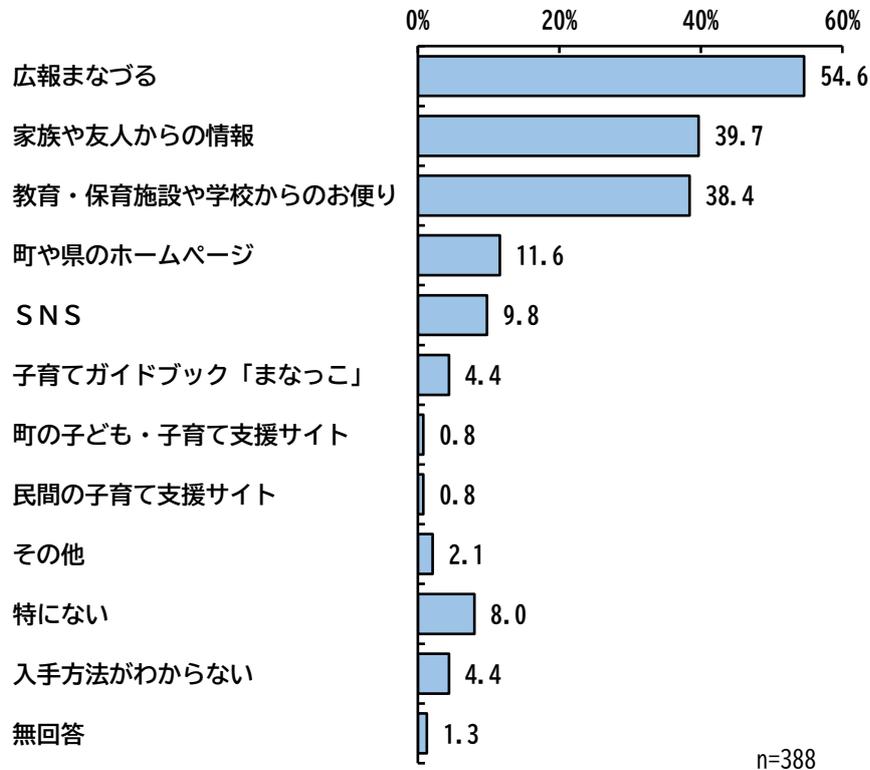
問21 お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所はありますか。(あてはまるものすべてに○)



子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所では、「友人や知人」76.0%が最も多く、以下「子どもの祖父母等の親族」65.2%、「子どもの母親または父親」64.7%、「教育・保育施設の保育士や先生、学校の先生やカウンセラー等」33.0%、「かかりつけの医師」18.0%となっています。

■22 県や町が実施している子育てや生活に関する支援の情報入手方法

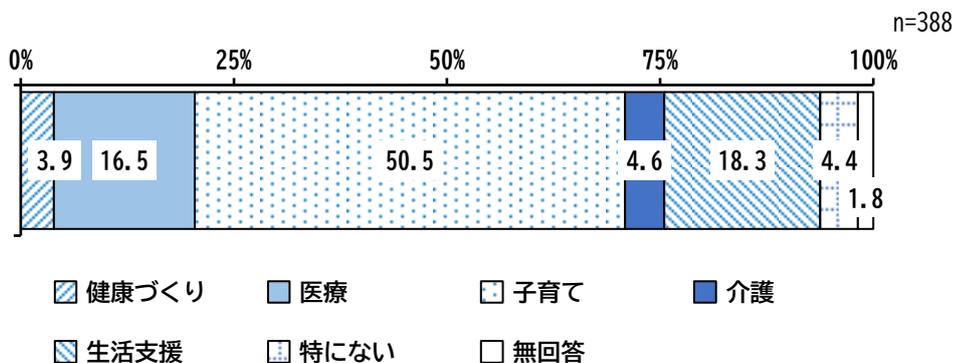
問22 県や町が実施している子育てや生活に関する支援の情報をどうやって知りますか。  
(あてはまるものすべてに○)



県や町が実施している子育てや生活に関する支援の情報入手方法では、「広報まなづる」54.6%が最も多く、以下「家族や友人からの情報」39.7%、「教育・保育施設や学校からのお便り」38.4%、「町や県のホームページ」11.6%、「SNS」9.8%となっています。

■23 町に優先的に力を入れてほしい分野

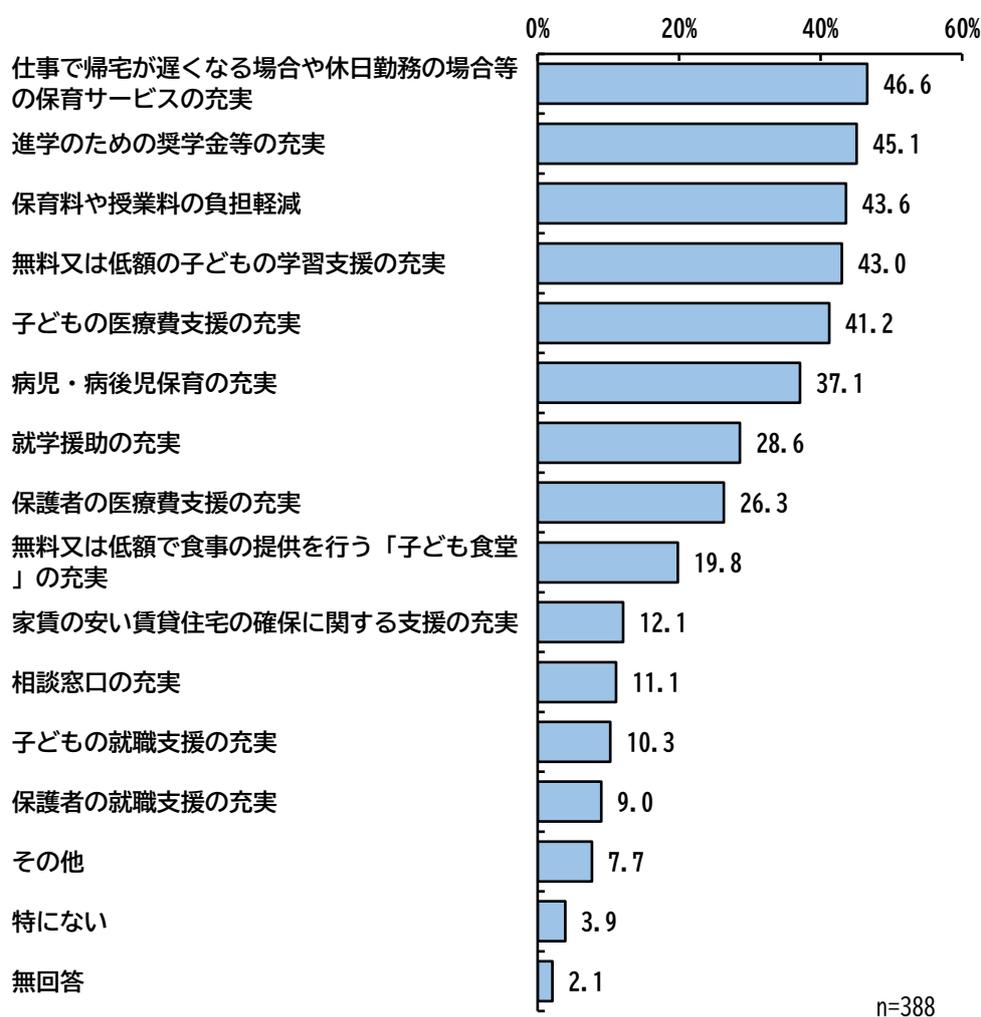
問23 次のうち、町に優先的に力を入れてほしい分野はどれですか。(あてはまるもの1つに○)



町に優先的に力を入れてほしい分野では、「子育て」50.5%が最も多く、以下「生活支援」18.3%、「医療」16.5%、「介護」4.6%、「特にない」4.4%となっています。

## ■24 充実が必要だと思う子育て・生活支援

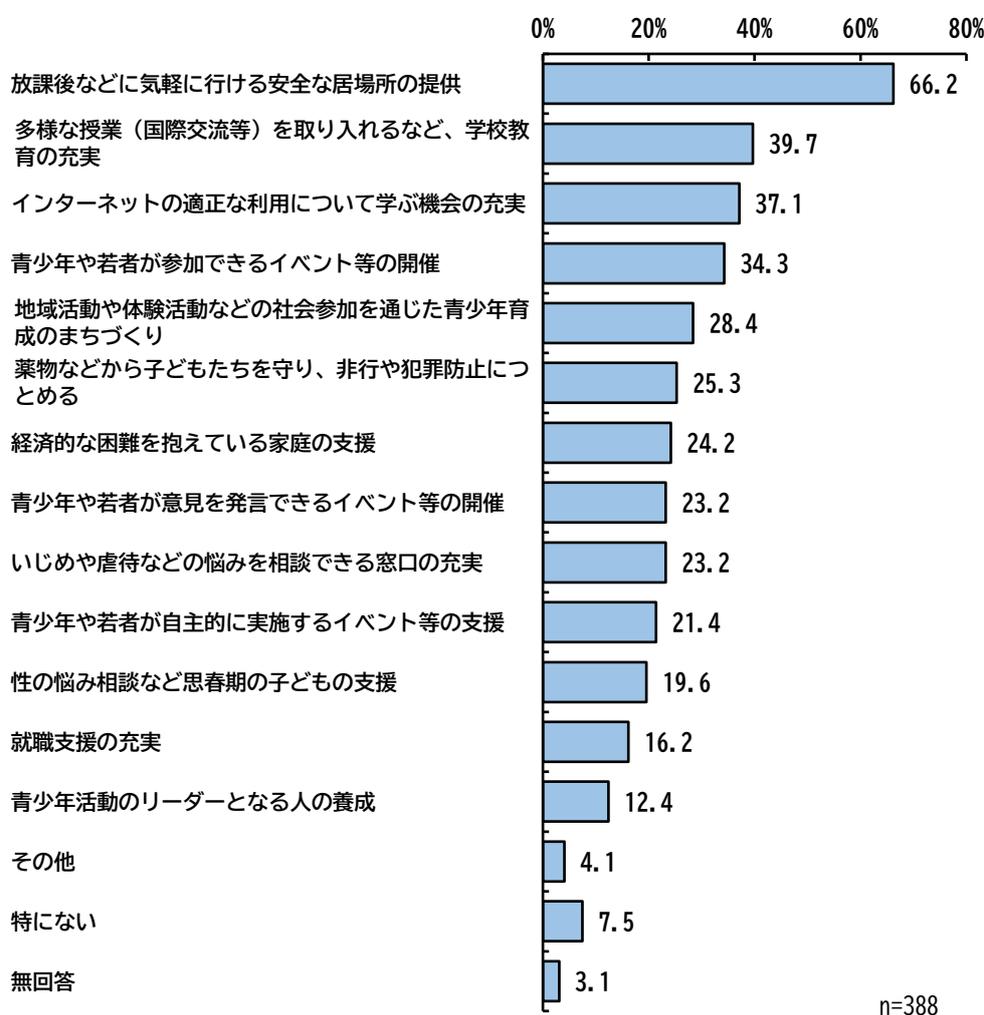
問24 どのような子育て・生活支援の充実が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



充実が必要だと思う子育て・生活支援では、「仕事で帰宅が遅くなる場合や休日勤務の場合等の保育サービスの充実」46.6%が最も多く、以下「進学のための奨学金等の充実」45.1%、「保育料や授業料の負担軽減」43.6%、「無料又は低額の子どもの学習支援の充実」43.0%、「子どもの医療費支援の充実」41.2%となっています。

## ■25 充実が必要だと思う子ども・若者支援

問25 どのような子ども・若者支援の充実が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



充実が必要だと思う子ども・若者支援では、「放課後などに気軽に行ける安全な居場所の提供」66.2%が最も多く、以下「多様な授業（国際交流等）を取り入れるなど、学校教育の充実」39.7%、「インターネットの適正な利用について学ぶ機会の充実」37.1%、「青少年や若者が参加できるイベント等の開催」34.3%、「地域活動や体験活動などの社会参加を通じた青少年育成のまちづくり」28.4%となっています。

# Ⅲ 集計（全体・地区別）

単位：％

問1 居住地区

	全体 (件)	真鶴	岩	無回答
全体	388	65.5	33.2	1.3

問2 同居家族人数

	全体 (件)	2人	3人	4人	5人	6人	7人	無回答	平均 (人)	最小値 (人)	最大値 (人)
全体	388	3.6	17.5	41.0	25.0	8.5	3.6	0.8	4.28	2.00	7.00
真鶴	254	3.9	16.1	41.3	26.4	9.1	3.1	-	4.30	2.00	7.00
岩	129	2.3	20.2	41.9	23.3	7.0	4.7	0.8	4.27	2.00	7.00

問3 18歳以下の同居家族人数

	全体 (件)	1人	2人	3人	4人	無回答	平均 (人)	最小値 (人)	最大値 (人)
全体	388	25.3	46.4	21.6	5.7	1.0	2.08	1.00	4.00
真鶴	254	24.8	47.2	20.9	6.7	0.4	2.09	1.00	4.00
岩	129	26.4	45.7	23.3	3.9	0.8	2.05	1.00	4.00

問4 同居家族

	全体 (件)	母親 (含む) (継母を 含む)	父親 (含む) (継父を 含む)	祖父母	兄弟姉妹	その他	無回答
全体	388	98.2	86.1	8.0	73.2	1.3	-
真鶴	254	97.2	85.4	8.3	74.4	1.6	-
岩	129	100.0	89.1	7.0	72.1	0.8	-

問5 現在の暮らしの状況

	全体 (件)	大変 苦しい	やや 苦しい	ふつ う	ある やや ゆとり が	ある 大 変 ゆ と り が	無 回 答	『苦 しい』	ふ つ う	『ゆ と り が あ る』	無 回 答
全体	388	9.5	33.0	48.2	8.8	0.5	-	42.5	48.2	9.3	-
真鶴	254	11.4	29.9	49.2	9.1	0.4	-	41.3	49.2	9.4	-
岩	129	4.7	39.5	46.5	8.5	0.8	-	44.2	46.5	9.3	-

問6 令和5年の世帯収入

	全体 (件)	127万円 を超える	127万円 を超えない	無回答
全体	388	91.2	7.2	1.5
真鶴	254	91.7	6.7	1.6
岩	129	90.7	8.5	0.8

問7 家計の支出の中で、負担が大きいと感じるもの

	全体 (件)	食費	衣類など身の回りの物の購入費	家賃や光熱水費等、住居にかかる費用	医療費	保育料、授業料、教材費など、学校等にかかる費用	学校の部活動にかかる費用	学習塾、習い事、スポーツ少年団など、学校以外の教育等にかかる費用	趣味やレジャー等の遊興費	その他	特に大きな負担は感じない	無回答
全体	388	82.2	34.3	79.1	4.9	22.2	6.7	31.4	10.3	3.9	1.8	-
真鶴	254	80.7	33.1	77.2	3.9	23.6	5.5	33.9	10.2	4.7	1.6	-
岩	129	84.5	35.7	82.9	7.0	20.2	9.3	26.4	10.9	2.3	2.3	-

問8 子どもが世話をしている家族

	全体 (件)	母親	父親	祖父母	兄弟姉妹	その他	お世話はしていない	無回答
全体	388	1.0	1.0	1.0	3.1	-	89.9	5.9
真鶴	254	0.4	0.4	0.4	2.8	-	91.7	4.7
岩	129	1.6	1.6	2.3	3.9	-	88.4	7.0

問9 子どもが行っている世話

	全体 (件)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）など	兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全体	16	31.3	43.8	25.0	31.3	31.3	18.8	50.0	-	-	-	6.3	-
真鶴	9	22.2	44.4	11.1	22.2	22.2	22.2	44.4	-	-	-	11.1	-
岩	6	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0	16.7	66.7	-	-	-	-	-

Ⅲ 集計（全体・地区別）

問10 子どもの母親の就労状況

	全体 (件)	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇 い・非常勤職員	自営業(家族従業者、内職、自 由業、フリーランスを含む)	働いていない(専業主婦/主 夫を含む)	いない、わからない	無回答
全体	388	22.7	3.4	45.9	13.9	13.7	0.5	-
真鶴	254	24.0	2.4	46.5	13.0	13.4	0.8	-
岩	129	20.9	5.4	45.0	15.5	13.2	-	-

問10① 働いていない理由

	全体 (件)	働きたいが、希望する 条件の仕事がないため	子育てを優先したいた め	家族の介護・介助のた め	自分の病気や障がいの ため	通学しているため	その他の理由	無回答
全体	53	20.8	67.9	9.4	13.2	-	13.2	-
真鶴	34	32.4	70.6	8.8	11.8	-	8.8	-
岩	17	-	64.7	11.8	17.6	-	17.6	-

問11 子どもの父親の就労状況

	全体 (件)	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇 い・非常勤職員	自営業(家族従業者、内職、自 由業、フリーランスを含む)	働いていない(専業主婦/主 夫を含む)	いない、わからない	無回答
全体	388	63.1	1.0	-	22.2	1.8	11.1	0.8
真鶴	254	63.4	1.2	-	21.3	1.6	11.8	0.8
岩	129	62.8	0.8	-	24.8	2.3	8.5	0.8

問11① 働いていない理由

	全体 (件)	働きたいが、希望する 条件の仕事がないため	子育てを優先したいた め	家族の介護・介助のた め	自分の病気や障がいの ため	通学しているため	その他の理由	無回答
全体	7	57.1	14.3	-	-	-	28.6	-
真鶴	4	50.0	-	-	-	-	50.0	-
岩	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-

問12 子どもが直面した困難

	全体 (件)	不登校	引きこもり	生活困窮	虐待	いじめ	友人との関係	家族との関係	家族の介護等で学校へ行けない、好きなことができない	その他	直面していない	無回答
全体	388	6.4	0.5	1.0	0.3	3.9	22.2	4.1	-	4.1	69.6	1.3
真鶴	254	5.5	0.4	1.6	-	3.9	24.0	3.5	-	4.7	67.7	1.6
岩	129	8.5	0.8	-	0.8	2.3	17.8	3.9	-	3.1	73.6	0.8

問13 困難を乗り越えた（乗り越える）ために役に立つ支援

	全体 (件)	家族や友人・知人への相談	町役場や民間機関の相談窓口での支援	金銭的な支援制度	流できる場所 同じような境遇の人同士で交	場所での時間 困難とは関係のない仲間、居	家に来てもらったの相談	練できる場所 必要なことが勉強できる、訓	住むところを探す支援	仕事に就くための支援	町役場への申請の同行	その他	特にない	無回答
全体	388	26.0	4.6	4.4	6.4	5.9	0.3	6.2	0.8	0.8	-	4.4	22.4	43.3
真鶴	254	28.3	4.7	4.3	5.9	5.1	-	5.9	0.8	0.4	-	4.7	23.2	40.6
岩	129	22.5	4.7	3.9	7.8	7.8	0.8	7.0	-	0.8	-	3.9	20.9	48.1

Ⅲ 集計（全体・地区別）

問14（1） 児童扶養手当の利用状況

	全体 (件)	利用 した こと が あ る	利用 する 必要 が な か つ た	利用 し な か つ た	利用 し た か つ た が 要 件 に 該 当 し な か つ た	利用 し た か つ た が ど こ に 相 談 す れ ば い い か わ か ら な か つ た	利用 する の が た め ら わ れ た	制度 の こ と を 知 ら な か つ た	無 回 答
全体	388	26.5	65.2	3.1	-	-	-	1.8	3.4
真鶴	254	27.6	62.6	3.9	-	-	-	1.6	4.3
岩	129	24.0	71.3	1.6	-	-	-	2.3	0.8

問14（2） 特別児童扶養手当の利用状況

	全体 (件)	利用 した こと が あ る	利用 する 必要 が な か つ た	利用 し な か つ た	利用 し た か つ た が 要 件 に 該 当 し な か つ た	利用 し た か つ た が ど こ に 相 談 す れ ば い い か わ か ら な か つ た	利用 する の が た め ら わ れ た	制度 の こ と を 知 ら な か つ た	無 回 答
全体	388	5.2	84.5	0.5	-	-	-	4.1	5.7
真鶴	254	5.9	82.3	0.8	-	-	-	4.3	6.7
岩	129	3.1	89.9	-	-	-	-	3.9	3.1

問14（3） 母子父子寡婦福祉資金貸付の利用状況

	全体 (件)	利用 した こと が あ る	利用 する 必要 が な か つ た	利用 し な か つ た	利用 し た か つ た が 要 件 に 該 当 し な か つ た	利用 し た か つ た が ど こ に 相 談 す れ ば い い か わ か ら な か つ た	利用 する の が た め ら わ れ た	制度 の こ と を 知 ら な か つ た	無 回 答
全体	388	2.1	81.2	0.8	-	-	0.3	9.3	6.4
真鶴	254	2.8	77.2	1.2	-	-	0.4	11.0	7.5
岩	129	0.8	89.1	-	-	-	-	6.2	3.9

問14（4） 生活困窮者自立支援制度の利用状況

	全体 (件)	利用 した こと が あ る	利用 する 必要 が な か つ た	利用 し な か つ た	利用 し な か つ た が 要 件 に 該 当 し な か つ た	利用 し な か つ た が ど こ に 相 談 す れ ば い い か わ か ら な か つ た	利用 する の が た め ら わ れ た	制度 の こと を 知 ら な か つ た	無 回 答
全体	388	1.3	78.6	1.8	0.5	0.5	10.3	7.0	
真鶴	254	2.0	73.2	2.4	0.4	-	13.4	8.7	
岩	129	-	89.1	0.8	0.8	1.6	4.7	3.1	

問14（5） 生活保護の利用状況

	全体 (件)	利用 した こと が あ る	利用 する 必要 が な か つ た	利用 し な か つ た	利用 し な か つ た が 要 件 に 該 当 し な か つ た	利用 し な か つ た が ど こ に 相 談 す れ ば い い か わ か ら な か つ た	利用 する の が た め ら わ れ た	制度 の こと を 知 ら な か つ た	無 回 答
全体	388	4.4	86.3	1.5	-	0.3	1.3	6.2	
真鶴	254	4.7	83.9	2.4	-	-	1.6	7.5	
岩	129	3.1	92.2	-	-	0.8	0.8	3.1	

問14（6） 生活福祉資金貸付の利用状況

	全体 (件)	利用 した こと が あ る	利用 する 必要 が な か つ た	利用 し な か つ た	利用 し な か つ た が 要 件 に 該 当 し な か つ た	利用 し な か つ た が ど こ に 相 談 す れ ば い い か わ か ら な か つ た	利用 する の が た め ら わ れ た	制度 の こと を 知 ら な か つ た	無 回 答
全体	388	1.3	83.0	1.0	-	0.5	7.5	6.7	
真鶴	254	2.0	79.1	1.6	-	0.4	8.7	8.3	
岩	129	-	90.7	-	-	0.8	5.4	3.1	

Ⅲ 集計（全体・地区別）

問14（7） 就学援助の利用状況

	全体 (件)	利用 した こと がある	利用 する 必要 がな かつ た	利用 した か つ た が 要 件 に 該 当 し な か つ た	利用 した か つ た が ど こ に 相 談 す れ ば い い か わ か ら な か つ た	利用 する の が た め ら わ れ た	制 度 の こ と を 知 ら な か つ た	無 回 答
全体	388	9.3	73.5	3.4	0.3	0.3	8.2	5.2
真鶴	254	9.4	70.9	3.9	0.4	-	9.1	6.3
岩	129	8.5	79.1	2.3	-	0.8	7.0	2.3

問14（8） 高等学校等就学支援金の利用状況

	全体 (件)	利用 した こと がある	利用 する 必要 がな かつ た	利用 した か つ た が 要 件 に 該 当 し な か つ た	利用 した か つ た が ど こ に 相 談 す れ ば い い か わ か ら な か つ た	利用 する の が た め ら わ れ た	制 度 の こ と を 知 ら な か つ た	無 回 答
全体	388	12.4	64.9	2.6	0.3	-	11.9	8.0
真鶴	254	12.6	60.2	3.1	0.4	-	14.2	9.4
岩	129	12.4	73.6	1.6	-	-	7.8	4.7

問14（9） 高等職業訓練促進給付金の利用状況

	全体 (件)	利用 した こと がある	利用 する 必要 がな かつ た	利用 した か つ た が 要 件 に 該 当 し な か つ た	利用 した か つ た が ど こ に 相 談 す れ ば い い か わ か ら な か つ た	利用 する の が た め ら わ れ た	制 度 の こ と を 知 ら な か つ た	無 回 答
全体	388	1.0	77.3	0.3	0.5	-	13.9	7.0
真鶴	254	1.6	73.2	0.4	0.8	-	15.7	8.3
岩	129	-	86.0	-	-	-	10.1	3.9

問15 幼少期に利用したい（したかった）子育て支援サービス

	全体 (件)	放課後児童教室	放課後児童クラブ・ 放課後児童教室	保育園の延長保育	病児・病後児保育	一時預かり事業	ファミリー・サポ- ト・センター	土曜教室	放課後子どもいきい きクラブ	その他	特 に な い	無 回 答
全体	388	37.1	29.9	34.8	41.5	33.5	30.7	34.8	2.1	16.2	1.5	
真鶴	254	40.9	31.5	34.6	43.7	35.0	32.7	31.9	2.8	14.2	2.4	
岩	129	28.7	27.1	35.7	38.0	31.0	27.1	41.1	0.8	19.4	-	

問16① 一時預かり事業を利用したい金額

	全体 (件)	4 0 0 円	6 0 0 円	8 0 0 円	1 0 0 0 円	有 料 な ら 利 用 し な い	無 回 答
全体	161	42.2	21.1	8.1	12.4	14.3	1.9
真鶴	111	46.8	19.8	9.9	8.1	13.5	1.8
岩	49	32.7	24.5	4.1	22.4	14.3	2.0

問16② ファミリー・サポート・センターを利用したい金額

	全体 (件)	5 0 0 円	7 0 0 円	1 0 0 0 円	有 料 な ら 利 用 し な い	無 回 答
全体	130	42.3	22.3	18.5	15.4	1.5
真鶴	89	47.2	22.5	14.6	15.7	-
岩	40	32.5	22.5	27.5	12.5	5.0

問17 子ども食堂に子どもを参加させたいか

	全体 (件)	い ま ま で 参 加 さ せ た い	参 加 し て い る	参 加 さ せ た く な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	388	34.5	8.0	10.3	45.6	1.5
真鶴	254	31.9	7.5	12.2	46.5	2.0
岩	129	39.5	9.3	7.0	44.2	-

問18 参加させたい・参加している理由

	全体 (件)	お 子 さ ん だ け で は 心 配 だ か ら	保 護 者 が 仕 事 で 不 在 の 時 な ど	お 子 さ ん に さ ま ざ ま な 人 と 関 わ る 機 会 を 持 た せ た い か ら	お 子 さ ん に さ ま ざ ま な 人 と 関 わ る 機 会 を 持 た せ た い か ら	食 べ さ せ ら れ な い か ら	経 済 的 に 、 家 で は 十 分 な 食 事 を 食 べ さ せ ら れ な い か ら	家 事 の 負 担 を 軽 減 し た い か ら	そ の 他	無 回 答
全体	165	39.4	75.8	2.4	33.9	6.1	-			
真鶴	100	43.0	80.0	3.0	35.0	3.0	-			
岩	63	34.9	68.3	1.6	33.3	11.1	-			

### Ⅲ 集計（全体・地区別）

問19 ヤングケアラーという言葉をごまでに聞いたことがあるか

	全体 (件)	聞いたことがあり、 内容も知っている	聞いたことはある が、よく知らない	聞いたことはない	無回答
全体	388	70.1	15.5	13.9	0.5
真鶴	254	75.6	11.4	12.2	0.8
岩	129	60.5	24.0	15.5	-

問20 子どもはヤングケアラーにあてはまると思うか

	全体 (件)	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
全体	388	2.1	93.0	3.6	1.3
真鶴	254	2.0	92.9	4.3	0.8
岩	129	2.3	94.6	1.6	1.6

問21 子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所

	全体 (件)	子どもの母親または父親	子どもの祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	教育・保育施設の保育士や先生、 学校の先生やカウンセラー等	町の子育て関連担当窓口	子育て支援施設（地域子育て支援 センター、児童センター等）	民生委員・児童委員、主任児童委 員	かかりつけの医師	その他	いない・ない	無回答
全体	388	64.7	65.2	76.0	11.9	33.0	8.8	5.9	2.3	18.0	1.3	4.6	0.5
真鶴	254	64.2	62.2	75.2	12.2	28.7	9.1	5.5	2.4	16.9	2.0	5.9	0.8
岩	129	68.2	72.9	76.7	10.1	41.9	7.8	7.0	2.3	20.9	-	2.3	-

問22 県や町が実施している子育てや生活に関する支援の情報入手方法

	全体 (件)	広報まなづる	子育てガイドブック 「まなっこ」	町の子ども・子育て 支援サイト	町や県のホームページ	教育・保育施設や学 校からのお便り	報 家族や友人からの情 報	民間の子育て支援サ イト	S N S	その他	特 に ない	入 手 方 法 が わ か ら な い	無 回 答
全体	388	54.6	4.4	0.8	11.6	38.4	39.7	0.8	9.8	2.1	8.0	4.4	1.3
真鶴	254	52.8	4.7	1.2	12.6	37.8	39.0	1.2	9.4	1.6	8.3	3.9	2.0
岩	129	59.7	3.9	-	10.1	41.1	40.3	-	10.9	3.1	6.2	5.4	-

問23 町に優先的に力を入れてほしい分野

	全体 (件)	健康 づくり	医療	子育て	介護	生活 支援	特 に ない	無 回 答
全体	388	3.9	16.5	50.5	4.6	18.3	4.4	1.8
真鶴	254	4.7	16.9	48.4	4.7	17.7	5.5	2.0
岩	129	2.3	15.5	55.8	4.7	18.6	1.6	1.6

問24 充実が必要だと思う子育て・生活支援

全体 (件)	仕事で帰宅が遅くなる場合や休日勤務の場合等の保育サービスの充実	病児・病後児保育の充実	子どもの医療費支援の充実	保護者の医療費支援の充実	保育料や授業料の負担軽減	就学援助の充実	進学のための奨学金等の充実	無料又は低額の子どもの学習支援の充実	無料又は低額の子どもの学習支援の「子ども食堂」の充実	無料又は低額で食事の提供を行う	子どもの就職支援の充実	保護者の就職支援の充実	相談窓口の充実	家賃の安い賃貸住宅の確保に関する支援の充実	その他	特 に ない	無 回 答
全体	388	46.6	37.1	41.2	26.3	43.6	28.6	45.1	43.0	19.8	10.3	9.0	11.1	12.1	7.7	3.9	2.1
真鶴	254	45.3	36.6	42.9	22.4	44.9	27.2	44.1	41.3	16.5	9.8	10.2	10.6	10.6	8.3	4.3	2.8
岩	129	48.8	38.8	38.0	34.1	41.9	31.0	45.7	46.5	25.6	10.1	7.0	12.4	15.5	7.0	3.1	0.8

問25 充実が必要だと思う子ども・若者支援

全体 (件)	青少年や若者が参加できるイベント等の開催	青少年や若者が意見を発言できるイベント等の開催	青少年や若者が自主的に実施するイベント等の支援	青少年活動のリーダーとなる人の養成	経済的な困難を抱えている家庭の支援	いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口の充実	放課後などに気軽に行ける安全な居場所の提供	多様な授業（国際交流等）を取り入れるなど、学校教育の充実	薬物などから子どもたちを守り、非行や犯罪防止につとめる	インターネットの適正な利用について学ぶ機会の充実	就職支援の充実	地域活動や体験活動などの社会参加を通じた青少年育成のまちづくり	性の悩み相談など思春期の子どもの支援	その他	特 に ない	無 回 答	
全体	388	34.3	23.2	21.4	12.4	24.2	23.2	66.2	39.7	25.3	37.1	16.2	28.4	19.6	4.1	7.5	3.1
真鶴	254	34.6	23.6	23.6	12.6	25.6	22.0	65.0	40.2	25.2	35.4	16.5	28.7	21.7	3.5	7.1	2.8
岩	129	34.1	23.3	17.8	12.4	20.9	24.8	69.0	38.0	26.4	40.3	14.7	27.9	14.7	5.4	7.8	3.9

# IV 調査票

【保護者のみなさま】

## 地域福祉（子どもの生活）に関する アンケート ご協力をお願い

### <回答方法について>

- ・ この調査は、お子さんの保護者の方がご回答ください。
- ・ 園や学校からこの調査票を持ち帰ったお子さんのことについてご回答ください。郵送で送られてきた方は、宛名ラベルに記載のあるお子さんのことについてご回答ください。
- ・ 調査票が複数届いた方は、お手数ですがお子さんごとにご回答ください。
- ・ 回答の仕方については、質問の最後に「あてはまるもの1つに○」、「あてはまるものすべてに○」など指定がありますので、それに従ってください。また、「その他」などを選んだ場合は、（ ）内に具体的な内容を記入していただくこともあります。
- ・ お名前をご記入いただく必要はありません。調査の集計は統計的に処理しますが、個人が特定されることはありません。また、ご回答いただいた内容を調査の目的以外に使用することはありません。
- ・ 答えたくない質問には、お答えいただかなくても構いませんので、お答えいただけるものについてご回答ください。

### <提出方法について>

- ・ 回答が済みましたら、配布された封筒に入れ戻して封をし、お子さんに持たせて園や学校に提出してください。郵送で送られてきた方は、同封の返信封筒に入れてポストに投函してください。
- ・ **1月29日（月）**までに、担任の先生に提出、またはポストに投函してください。  
(切手を貼付する必要はありません)

不明点などがありましたら、下記までお問合せください。

問い合わせ	真鶴町役場 福祉課
	TEL : 0465-68-1131 (内線 233)
	MAIL : fuk_kosodateshien@town.manazuru.kanagawa.jp

※この調査で「お子さん」とは、調査票を配付したお子さん、または宛名ラベルのお子さんのことをいいます。

### 世帯のことについて

問1 お住まいの地区をお答えください。

- 1 真鶴
- 2 岩

問2 お子さんと同じ、生計を同一にしているご家族の人数をお答えください。

※単身赴任中の人は含めないでください。

ご家族の人数

人

問3 問2で回答したご家族のうち、令和6年1月1日現在、0歳から18歳以下の人の人数をお答えください。

18歳以下の人数

人

問4 問2で回答したご家族は、お子さんから見てどの方ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 母親（継母を含む）
- 2 父親（継父を含む）
- 3 祖父母
- 4 兄弟姉妹
- 5 その他（

)

問5 あなたは、現在の暮らしの状況を総合的に見て、どのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 大変苦しい
- 2 やや苦しい
- 3 ふつう
- 4 ややゆとりがある
- 5 大変ゆとりがある

問6 令和5年1月から12月までのあなたの世帯の収入（税金や社会保険料等を差し引いた、いわゆる手取り収入）の合計額は、127万円を超えますか。

なお、ここでいう収入には仕事で得た収入のほか、株式配当などの副収入、年金収入、児童手当などの公的な手当・給付金、養育費等を含みます。(あてはまるもの1つに○)

- 1 127万円を超える
- 2 127万円を超えない

問7 家計の支出の中で、負担が大きいと感じるものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 食費
- 2 衣類など身の回りの物の購入費
- 3 家賃や光熱水費等、住居にかかる費用
- 4 医療費
- 5 保育料、授業料、教材費など、学校等にかかる費用
- 6 学校の部活動にかかる費用
- 7 学習塾、習い事、スポーツ少年団など、学校以外の教育等にかかる費用
- 8 趣味やレジャー等の遊興費
- 9 その他 ( )
- 10 特に大きな負担は感じない

問8 家族のうち、**お子さんが**お世話をしている人はいますか。それはどなたですか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ここでいう「お世話」とは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることです。

- |           |             |           |
|-----------|-------------|-----------|
| 1 母親      | 6 お世話はしていない | →問10に     |
| 2 父親      |             | すすんでください。 |
| 3 祖父母     |             |           |
| 4 兄弟姉妹    |             |           |
| 5 その他 ( ) |             |           |

問9 問8で1～5を選んだ人にお聞きます。

**お子さんが**行っているお世話の内容をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家事（食事の準備や掃除、洗濯）
- 2 兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など
- 3 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）
- 4 外出の付き添い（買い物、散歩など）
- 5 通院の付き添い
- 6 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
- 7 見守り
- 8 通訳（日本語や手話など）
- 9 金銭管理
- 10 薬の管理
- 11 その他 ( )

## 就労について

【すべての人にお聞きします。】

問 1 0 お子さんの**母親**の就労状況について、あてはまるものをお答えください。(主なもの 1 つに○)

- 1 正社員・正規職員・会社役員
- 2 嘱託・契約社員・派遣職員
- 3 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 4 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)
- 5 働いていない(専業主婦/主夫を含む) ……
- 6 いない、わからない

「働いていない」理由を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 働きたいが、希望する条件の仕事がないため
- 2 子育てを優先したいため
- 3 家族の介護・介助のため
- 4 自分の病気や障がいのため
- 5 通学しているため
- 6 その他の理由

【すべての人にお聞きします。】

問 1 1 お子さんの**父親**の就労状況について、あてはまるものをお答えください。(主なもの 1 つに○)

- 1 正社員・正規職員・会社役員
- 2 嘱託・契約社員・派遣職員
- 3 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 4 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)
- 5 働いていない(専業主婦/主夫を含む) ……
- 6 いない、わからない

「働いていない」理由を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 働きたいが、希望する条件の仕事がないため
- 2 子育てを優先したいため
- 3 家族の介護・介助のため
- 4 自分の病気や障がいのため
- 5 通学しているため
- 6 その他の理由



## 子育て支援について

問14 あなたの世帯では、以下の公的支援制度を利用したことがありますか。

((1)～(9)それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	利用したことがある	利用したことがない				
		利用する必要がなかった	利用しなかったが要件に該当しなかった	利用しなかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためられた	制度のことを知らなかった
<b>(1) 児童扶養手当</b> ひとり親家庭の親等で、18歳になった年度の3月31日（高校卒業）までの児童を養育している人を対象に手当を支給する制度。	1	2	3	4	5	6
<b>(2) 特別児童扶養手当</b> 障害のある20歳未満の児童を養育している人を対象に手当を支給する制度。	1	2	3	4	5	6
<b>(3) 母子父子寡婦福祉資金貸付</b> 20歳未満の児童を養育しているひとり親家庭等の親又はその子どもを対象に、自立・進学等のための資金を貸し付ける制度。	1	2	3	4	5	6
<b>(4) 生活困窮者自立支援制度</b> 生活保護に至る前の生活困窮者に対し、自立相談支援の窓口設置、住宅確保給付金の支給や就労準備支援、家計相談支援、学習支援等を実施する制度。	1	2	3	4	5	6
<b>(5) 生活保護</b> 資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する人を対象に、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障し自立を助長する制度。	1	2	3	4	5	6
<b>(6) 生活福祉資金貸付</b> 低所得者、障がい者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、経済的自立や生活意欲の助長促進等を図る制度。	1	2	3	4	5	6
<b>(7) 就学援助</b> 経済的理由などで小・中学生の子どもの就学に困っている保護者を対象に、学用品費や給食費など就学に必要な費用の一部を援助する制度。	1	2	3	4	5	6
<b>(8) 高等学校等就学支援金</b> 世帯の所得に応じて、授業料に充てる支援金を給付し、子どもの高等学校等への就学を支援する制度。	1	2	3	4	5	6
<b>(9) 高等職業訓練促進給付金</b> ひとり親家庭の親が、就職に有利な資格を取得するために1年以上養成機関で修業する場合、修業中の生活の安定を図るため一定額を支給する制度。	1	2	3	4	5	6





## ヤングケアラーについて

【すべての人にお聞きします。】

問 1 9 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。（あてはまるもの 1 つに○）

- 1 聞いたことがあり、内容も知っている
- 2 聞いたことはあるが、よく知らない
- 3 聞いたことはない

問 2 0 お子さんは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。「ヤングケアラー」について下記に説明があるので、それを見てお答えください。（あてはまるもの 1 つに○）

- 1 あてはまる
- 2 あてはまらない
- 3 わからない

## ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

### 相談や情報の入手先について

問21 お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 子どもの母親または父親
- 2 子どもの祖父母等の親族
- 3 友人や知人
- 4 近所の人
- 5 教育・保育施設の保育士や先生、学校の先生やカウンセラー等
- 6 町の子育て関連担当窓口
- 7 子育て支援施設（地域子育て支援センター、児童センター等）
- 8 民生委員・児童委員、主任児童委員
- 9 かかりつけの医師
- 10 その他（)
- 11 いない・ない

問22 県や町が実施している子育てや生活に関する支援の情報をどうやって知りますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 広報まなづる
- 2 子育てガイドブック「まなっこ」
- 3 町の子ども・子育て支援サイト
- 4 町や県のホームページ
- 5 教育・保育施設や学校からのお便り
- 6 家族や友人からの情報
- 7 民間の子育て支援サイト
- 8 SNS
- 9 その他（)
- 10 特にない
- 11 入手方法がわからない

### 真鶴町の地域福祉のあり方について

問23 次のうち、町に優先的に力を入れてほしい分野はどれですか。(あてはまるもの1つに○)

- |         |        |
|---------|--------|
| 1 健康づくり | 4 介護   |
| 2 医療    | 5 生活支援 |
| 3 子育て   | 6 特にない |

**問 2 4** どのような子育て・生活支援の充実が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 仕事で帰宅が遅くなる場合や休日勤務の場合等の保育サービスの充実
- 2 病児・病後児保育の充実
- 3 子どもの医療費支援の充実
- 4 保護者の医療費支援の充実
- 5 保育料や授業料の負担軽減
- 6 就学援助の充実
- 7 進学のための奨学金等の充実
- 8 無料又は低額の子どもの学習支援の充実
- 9 無料又は低額で食事の提供を行う「子ども食堂」の充実
- 10 子どもの就職支援の充実
- 11 保護者の就職支援の充実
- 12 相談窓口の充実
- 13 家賃の安い賃貸住宅の確保に関する支援の充実
- 14 その他 ( )
- 15 特にない

**問 2 5** どのような子ども・若者支援の充実が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 青少年や若者が参加できるイベント等の開催
- 2 青少年や若者が意見を発言できるイベント等の開催
- 3 青少年や若者が自主的に実施するイベント等の支援
- 4 青少年活動のリーダーとなる人の養成
- 5 経済的な困難を抱えている家庭の支援
- 6 いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口の充実
- 7 放課後などに気軽に行ける安全な居場所の提供
- 8 多様な授業（国際交流等）を取り入れるなど、学校教育の充実
- 9 薬物などから子どもたちを守り、非行や犯罪防止につとめる
- 10 インターネットの適正な利用について学ぶ機会の充実
- 11 就職支援の充実
- 12 地域活動や体験活動などの社会参加を通じた青少年育成のまちづくり
- 13 性の悩み相談など思春期の子どもの支援
- 14 その他 ( )
- 15 特にない

**問 2 6** 地域福祉（子どもの生活）について、ご意見やご要望を自由にご記入ください。

アンケートは以上になります。

1月29日（月）までに

- 園や学校から配布された方は、配布された封筒に入れ戻して封をし、お子さんに持たせて園や学校に提出してください。
- 郵送で送られてきた方は、同封の返信封筒に入れてポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。